

www.r-toolbox.jp

toolbox

## オーダーミドルキッチン

### 目次

各部の名称	1
安全上のご注意	2
使用上のお願い	3
お手入れ方法	4

### 安全のために必ずお守りください

- ・ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みの上、正しくお使いください。  
お読みになった後は、大切に保管してください。  
この取扱説明書は取付設置後、お施主様へ必ずお渡しください
- ・ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結びつくものです。  
安全に関する重大事項ですので、必ずお守りください。

本文中に使われている図記号の意味は次の通りです。

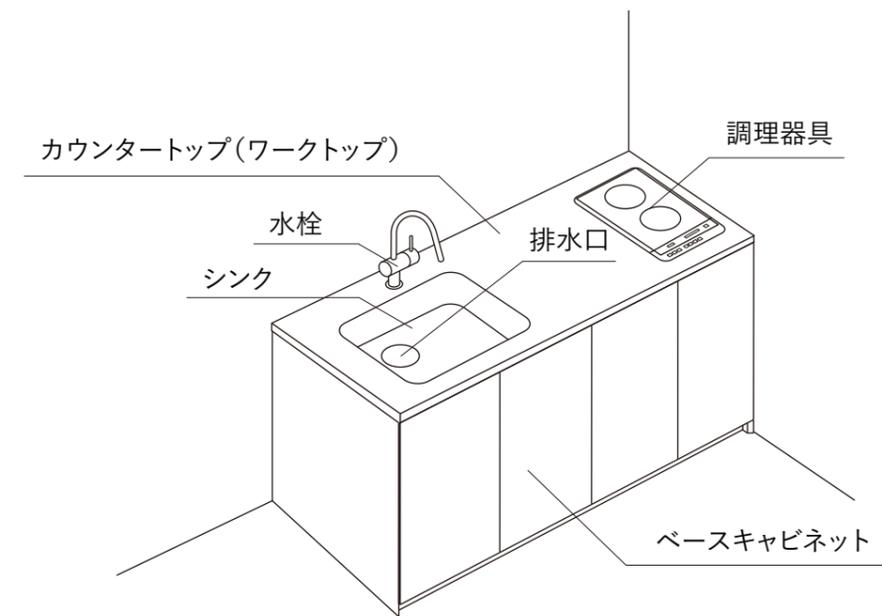
 <b>警告</b> 警告を無視した取り扱いをすると、死亡や重症などの重大な結果に結びつく可能性があります。	 <b>禁止事項</b>	 <b>指示に従う</b>
 <b>注意</b> 注意を無視した取り扱いをすると、物的損害を被ったり、傷害を負う可能性があります。	 <b>接触禁止</b>	 <b>高温注意</b>
	 <b>分解・修理・改造禁止</b>	

株式会社 TOOLBOX

URL [www.r-toolbox.jp](http://www.r-toolbox.jp)  
E-mail [contact@r-toolbox.jp](mailto:contact@r-toolbox.jp)

# 各部の名称

---



# 安全上のご注意

必ずお守りください

## 警告

-  調理機器の上や回りには燃えるものを絶対に置かないでください。  
スイッチの切り忘れなどにより着火し、火災の原因になることがあります。

## 注意

-  棚受けは確実に奥まで差し込んでください。  
棚板が落下して、ケガをする恐れがあります。
-  天ぷら油や多量の熱湯を直接排口に流さないでください。  
排水器具などが変形して水漏れの原因になることがあります。
-  組み込まれる機器・水栓金具などについては、  
それぞれの取扱説明書及び製品本体に表示されている事項をお守りください。  
排水器具などが変形して水漏れの原因になることがあります。
-  固形または粉末の塩素系洗剤・漂白剤は使用したり近づけたりしないでください。  
水や湿気に反応して、発生するガスがステンレス等の金属やゴムの腐食・劣化の原因になります。  
保管の場所や方法に十分注意してください。その他の洗剤・漂白剤は使用上の注意をよく読んでお使いください。
-  棚板の上に 8kg 以上載せないでください。また一部分への集中荷重は避けてください。  
棚板やキャビネット本体の変形により、載せているものなどが落ち、ケガをする恐れがあります。
-  調理器の使用後や使用直後は、調理器周辺に手を触れないでください。  
放射熱などで暑くなっており、ヤケドの恐れがあります。
-  包丁差しの固定ネジがゆるんでガタつきが発生したときは、  
ネジを締め直すか、販売店に連絡してください。  
包丁差しがはずれてケガをする恐れがあります。
-  改造しないでください。  
思わぬ事故の原因になることがあります。
-  鍋や鉄板を使用する場合は、ワークトップにはみ出さないでください。  
ワークトップが加熱し、火災の原因になることがあります。

# 使用上のお願い

## ■ カウンター（ワークトップ）

-  熱したフライパン・鍋・火のついたタバコ等の熱いものはカウンターに直接置かないでください。  
変色・変形の原因になります。
-  固いものや鋭利な物は、落としたりひきずらないでください。  
また、直接カウンターの上で包丁で物を切らないでください。  
キズがつきます。
-  濡れたままの包丁・缶詰等鉄製の物や、塩ビ・ゴム製品を長時間のせたままにしないでください。  
貰いサビ・変色の原因になります。
-  酸やアルカリの薬品をかけたり流したりしないでください。  
カウンターをいためます。
-  油・煮こぼれ・調味料の汚れはすぐに水拭きしてください。  
そのまま放置するとサビ・変色の原因になります。
-  強い衝撃を与えないでください。
-  シンク内に氷や井戸水を放置すると結露する場合があります。  
結露による扉やキャビネットの変形・変色の原因になります。
-  長期間、水滴を放置しないでください。  
水アカの原因になります。（水道水に含まれるケイ酸によるものです）

## ■ キャビネット（木部）

-  シンナー・ベンジン等の溶液で表面を拭いたりしないでください。  
変色したり溶解することがあります。
-  水をかけないでください。  
水の飛び跳ねはこまめに拭き取ってください。  
また、濡れた手でさわらないでください。  
長時間放置すると扉やキャビネットの変形・変色の原因になります。
-  油・調味料等の汚れはすぐに拭き取ってください。  
長時間経つととれなくなります。

## ■ 排水口（排水器具）

-  布・ビニール・脱脂綿など水に解けにくいものを流さないでください。  
詰まりの原因になります。

## ■ その他

-  冬場、水道を凍結させないでください。  
凍結の心配がある場合は、不凍栓を閉じて水栓の水抜きをあけて水を抜くか、水を細く出してください。

# お手入れ方法

---

## カウンター

- ご使用後は水拭きしてください。
- 塩分・油脂分の汚れは、布・スポンジに台所用中性洗剤を含ませて拭き取った後、水拭きしてください。
- ガンコな汚れは、スポンジにクリームクレンザーをつけておとしてください。この時ステンレスカウンターは目の方向に沿って磨いてください。  
(強くこするとキズがつきますので、注意してください。)

## キャビネット（木部）

- 乾いた布または固く絞った布で拭いてください。
- 油脂分等の汚れは、布に中性洗剤を浸して拭き取り、固く絞った布で洗剤分を拭き取ってください。

## 排水口（排水器具・ホース）

- 排水器具の部品は取り外せますので、全てを取り出して中性洗剤で洗ってください。
- 定期的に「パイプ洗浄剤」を使用して、排水パイプを洗浄してください。

## その他の設備機器

- 水栓等の手の届かないところの汚れは、使い古しのハブラシに中性洗剤をつけて落としてください。
- 各設備機器に付属の取扱説明書のお手入れの項をよくご覧ください。